

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集 フィールドシンポジウム
「海岸生物の長期変遷からみえる近年の兆候」

Volume 40
Number 2
December 2018



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

上空から畠島をのぞむ

文・写真 中野 智之

畠島は、田辺湾の南側のほぼ中央に位置する無人島である。島内には、岩礁、転石、砂浜、砂泥地などの多様な環境が見られ、この島を一周するだけで田辺湾周辺の海岸生物相を観察できる場所になっている。1968 年より京都大学瀬戸臨海実験所管理の島となり、「海岸生物群集一世紀間調査」が始まっている。しかしながら、近年、レジャー目的での無断上陸が目立ち、パーベキューやゴミの投棄などで畠島の生態系に悪影響を及ぼしている。

(2006 年撮影)

関西自然保護機構 (KONC : Kansai Organization for Nature Conservation)

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。